

夜間中学ニーズ調査の結果概要について

令和4年10月3日現在

目的：県内において公立夜間中学に入学の可能性がある方の人数などニーズの把握
 調査期間：令和4年8月12日～令和4年9月30日
 調査方法：次の県内各所に設置した料金受取人払郵便はがき（計1万枚）による回答、
 または、県教委のHPからのインターネットによる回答【別紙】
 ①県の関係公共施設等
 ②市役所・町役場・公民館・図書館・自主夜間中学・学習支援施設・
 国際交流施設・スーパー等（市町教育委員会経由）
 回答件数：489件（はがき232件、インターネット257件）

〈調査結果概要〉

質問1 あなたは夜間中学で学んでみたいと思いますか、また夜間中学のことを知らせたいと思う人があなたのまわりにいますか。（複数回答あり）（人）

- ・自分が学んでみたい方が51人。
 - ・身近にいる、思いつく人がいる方の合計は80人。
- ⇒ 夜間中学に入学の可能性がある方は、一定程度いるものと考えられる。

質問1で「1. 自分が学んでみたい」方（51人）の回答

質問2 あなたが夜間中学で学びたい理由を教えてください。

- ・「2. 卒業したが、もう一度学び直したいから」が48人であった。
- ⇒ この調査では、外国籍の方は少なかった。
 ⇒ 中学校は卒業しているが、しっかり勉強してこなかったので学び直したい方がいると思われる。

質問4 あなたのことを教えてください。

年代

- ・20歳未満の方はいなかった。
- ・50歳代以上の方が31人で全体の半数以上を占めた。

お住まいの市町

教育事務所地区別人数			
小松	金沢	中能登	奥能登
7人	18人	17人	4人

- ⇒ 夜間中学で学びたいという大人の方は幅広い年代で県内全域におり、ニーズは確実にあると思われる。